

チャシ跡関係文献目録

— 1890年～1977年 —

後藤秀彦編

- 1890 (明治23) 年
 坪井正五郎：ロンドン通信、東京人類学会雑誌55
 佐藤重紀：豎穴及チャシコツ、東京人類学会雑誌
 56
- 1891 (明治24) 年
 永田方正：北海道蝦夷語地名解（単）
- 1906 (明治39) 年
 河野常吉：チャシ即ち蝦夷の砦、札幌博物学会会
 報1—1
- 1907 (明治40) 年
 酒井章太郎：十勝史（単）
- 1908 (明治41) 年
 河野常吉：コロポックル説の誤診を論ず、歴史地
 理12—5.6
 ———：非コロポックル論、札幌博物学会会報
 2—2
- 1911 (明治44) 年
 河野常吉：北海道名勝誌（単）
- 1917 (大正6) 年
 釧路教育会：釧路国郷土誌（単）
- 1918 (大正7) 年
 阿部正己：北海道のチャシ、人類学雑誌33—3
 河野常吉編：北海道史附録地図（単）
- 1919 (大正8) 年
 阿部正己：北海道の土城、人類学雑誌34—10
 北海道人類学会：十勝アイヌの沿革、北海道人類
 学会雑誌1
 ———：根室国標準のチャシ、北海道人
 類学会雑誌1
- 1922 (大正11) 年
 佐々木長左衛門：アイヌの話（単）
- 1924 (大正13) 年
 北海道庁：北海道史蹟名勝天然紀念物調査報告書
 （単）
- 1925 (大正14) 年
 釧路市役所：釧路市案内（単）
- 1926 (大正15) 年
 工藤梅次郎：アイヌ民話（単）
- 1929 (昭和4) 年
 中谷治宇二郎：日本石器時代提要（単）
- 1932 (昭和7) 年
 釧路教育会：釧路市郷土誌（単）
 河野広道：胆振国千歳村火山灰下の豎穴遺跡、人
 類学雑誌47—5
- 1933 (昭和8) 年
 釧路考古学研究会：釧路市の先住民族の遺跡（単）
 後藤寿一：北見国枝幸郡枝幸村の遺跡について、
 蝦夷往来10
 名取武光・後藤寿一：利尻・禮文島紀行、蝦夷住
 来11
 ———：利尻禮文両島に於ける考古学的調査報
 告、史前学雑誌5—3
- 1934 (昭和9) 年
 中村明月：トンナイチャシ、蝦夷往来13
 後藤寿一：胆振国千歳郡恵庭村の遺跡について、
 考古学雑誌24—2
- 1935 (昭和10) 年
 斎藤米太郎：郷土先史民族砦趾（単）
 後藤寿一：札幌附近の遺跡と遺物の一部、北海道
 俱楽部2—7
- 1936 (昭和11) 年
 斎藤米太郎：十勝先史民族の遺趾（単）
 後藤寿一：下総国香取郡米沢村及びその附近の遺
 跡並びに遺物について、考古学雑誌26—11
- 1937 (昭和12) 年
 後藤寿一：札幌市及びその附近の遺跡・遺物の二
 三について、考古学雑誌27—9
 原田二郎：北海道千歳村のチャシに就て、軍事史
 研究2—3
- 1938 (昭和13) 年
 名取武光・河野広道：北海道の先史時代、人類学
 先史学講座6

- 伊藤初太郎：根室半島に存在せるチャシ、考古学雑誌28—7
- 岩佐幸治：塗別村史（単）
- 1940（昭和15）年
- 北海道庁：北海道の口碑伝説（単）
- 1943（昭和18）年
- 齊藤米太郎：十勝川沿岸砦趾の研究（単）
- 1944（昭和19）年
- 後藤寿一：有珠並びに絵柄の調査概況、北方研究室調査資料
- 1949（昭和24）年
- 江上波夫：アイヌのチャシとロシアのゴロディチュ、民族学研究13—3
- 名取武光：千歳アイヌの祖印、民族学研究13—4
- 1951（昭和26）年
- 駒井和愛：保砦（チャシ）、考古学概説（単）
- 1952（昭和27）年
- 佐藤直太郎：疑問のポンチャシ、釧路博物館新聞3
- 井浦徹人：口碑伝説と景勝、芽室町五十年史（単）
- 米村喜男衛：チャシのアイヌ使用法について、日本考古学協会第9回総会研究発表要旨（単）
- 北海道教育委員会：北海道の文化財（単）
- 1953（昭和28）年
- 米村喜男衛：チャシの用法について、第8回日本人類学会日本民族学会連合大会抄録
- 1954（昭和29）年
- 川崎利夫：山形県に於けるチャシの分布と構造、史学研究3·4
- 渡辺茂：白糠町史（単）
- 1955（昭和30）年
- 河野広道：先史、斜里町史（単）
- 1956（昭和31）年
- 知里真志保：地名アイヌ語小辞典（単）
- 小野忠熙：本州の西端地方における古代の墳・塚遺跡、古代学5—2
- 佐藤直太郎：トリトウシ貝塚とりタッコブチャシコツの踏査、釧路博物館新聞68
- 松崎岩穂：上ノ国村史（単）
- 1957（昭和32）年
- 名取武光：チャシ、世界大百科事典19
- 渡辺茂：釧路市史（単）
- 大和久震平：能代市金山チャシ発掘報告、秋田県立鷹巣農林高校郷土研究部報1
- 川崎利夫：山形県内に分布するチャシについて、山形考古2
- 1958（昭和33）年
- 河野広道：先史時代篇、網走市史 上——：小樽・余市附近の重要遺跡、北海道芸大学考古学研究会連絡紙8
- 江上波夫・関野雄・桜井清彦：館址（単）
- 齊藤忠：北日本における古城址の概観、館址附篇高橋堅治：置賜地方にみられるチャシ構築の特殊相、山形考古4
- 1959（昭和34）年
- 佐藤直太郎：釧路村におけるチャシコツについて（2）、釧路博物館新聞85
- ：乙部（オトンベ）のチャシコツ、釧路博物館新聞94
- ：釧路アイヌの菱祭（3）、釧路博物館新聞96
- 小野忠熙：弥生時代囲郭村落の諸問題、地理学評論32—6
- 1960（昭和35）年
- 米村喜男衛：アイヌのチャシ（砦）、民間伝承24—4
- 河野広道：史跡モシリヤのチャシ、北海道文化財シリーズ・史跡名勝2
- ：史跡鶴ヶ岱チャランケチャシ、北海道文化財シリーズ・史跡名勝2
- ：道指定史跡シバチャリのチャシ、北海道文化財シリーズ・史跡名勝2
- 名取武光：史跡桂ヶ岡砦跡、北海道文化財シリーズ・史跡名勝2
- 下中邦彦編：風土記日本6 北海道篇
- 沢四郎・及川武信・鈴木徳一・横平弘：阿寒郡鶴居村の先史時代の遺跡、釧路市立郷土博物館々報104
- 草間俊一：岩手県のチャシと鳥海柵、岩手史学研究33
- 板橋源：「チャシ」名疑一疑、岩手史学研究34
- 小林正雄：帶広市史（単）
- 橘文七：口碑・伝説、広尾町史（単）
- 1961（昭和36）年
- 岡田宏明・岡田淳子：厚岸筑紫恋のチャシと貝塚、釧路市立郷土博物館々報117
- 金成まつ・金田一京助：アイヌ叙事詩ユーカラ集II（単）

- 音別町遺跡保護保存会：育ち来し郷土 1
- 川崎利夫：チャシに関する諸問題、羽陽文化 51・52
- 1962（昭和37）年
- 沙流川流域史調査団：北海道沙流川流域史調査概報（第一次）、史觀 63・64
- 河野広道：チャシ・チャシコツ、日本考古学辞典（単）
- 佐藤直太郎：モシリヤチャシコツの話（1）——釧路市内の現存遺跡について——、釧路市立郷土博物館々報 122・124・127
- 桜井清彦：北海道沙流川流域の考古学調査第2次、日本考古学協会昭和37年度大会研究発表要旨
- 1963（昭和38）年
- 大場利夫：史跡モシリヤのチャシ、北海道文化財シリーズ・総合篇 5
- ：史跡鶴ヶ岱チャランケチャシ、北海道文化財シリーズ・総合篇 5
- ：史跡桂ヶ岡砦跡、北海道文化財シリーズ・総合篇 5
- ：道指定史跡シベチャリのチャシ、北海道文化財シリーズ・総合篇 5
- 岡崎由夫・沢四郎・富水慶一・藤村久和：北海道阿寒町布伏内シエンクシタカラ遺跡発掘報告、北海道阿寒町の文化財・先史文化篇 1
- 藤村久和：チャシ考、寮誌チカル
- 1964（昭和39）年
- 静内高校文化人類学研究部：シベチャリのチャシ発掘報告——第1次調査——、ひだか 16
- 駒井和愛編：オホーツク海沿岸知床半島の遺跡 下
- 佐藤直太郎：チャシとゴロディシチエ、釧路市立郷土博物館々報 151・152
- 沢四郎：釧路地方の埋蔵文化財破壊の現状、釧路市立郷土博物館々報 149
- ：釧路地方の埋蔵文化財破壊の現状（2）、釧路市立郷土博物館々報 153
- ：釧路地方の埋蔵文化財破壊の現状（3）、釧路市立郷土博物館々報 154
- 萩原実：十勝開拓史話（単）
- 西士狩史編纂委員会：遺跡伝承名勝旧跡、西士狩史（単）
- 疋田武：千歳市蘭越チャシに関する一考察、人文地理 16-6
- 1965（昭和40）年
- 鈴木公雄：チャシの性格に関する一試論、物質文化 6
- 斎藤忠：蝦夷の文化とアイヌの文化、蝦夷
- 新岡文彦：日本北辺の土城に就いて、北海道考古学 1
- 沢四郎：野付半島周辺の遺跡踏査報告、釧路市立郷土博物館々報 163～165
- 1966（昭和41）年
- 沢四郎：釧路地方の先史時代の貝塚及び骨塚（1）、釧路市立郷土博物館々報 178・179
- 千代肇：北海道瀬田内チャシ調査概報、日本考古学協会昭和41年度大会研究発表要旨
- 後藤寿一：広島町調査報告 1・2、郷土研究広島村 1
- 1967（昭和42）年
- 千代肇：考古学からみた瀬田内チャシ、新しい道史 5-4
- 桜井清彦：アイヌ秘史（単）
- 扇谷昌康：アイヌ時代、日高の文化財 1（埋蔵文化財篇）
- 大場利夫：石川徹：千歳遺跡（単）
- 村上修落：浦臼町の先史時代、浦臼町史
- 斎藤忠：北海道の二つのチャシ、日本歴史 224
- 富水慶一：釧路周辺のチャシコツについて、北海道の文化 12
- 佐藤直太郎：郷土の足あと（1）、釧路市立郷土博物館々報 186～188
- ：郷土の足あと（2）、釧路市立郷土博物館々報 190～191
- 1968（昭和43）年
- 沢四郎：釧路村における埋蔵文化財破壊の現状、釧路市立郷土博物館々報 193
- ・宇田川洋・西幸隆：釧路村遠矢チャシ調査概報、釧路考古学研究会連絡紙 1-6
- 河野本道：先史時代、穂別町史
- 佐藤直太郎：遠矢のチャシと丹頂鶴の話、続・佐藤直太郎土研究論文集 釧路叢書 3
- 富水慶一：刺牛チャシコツの出土遺物、北海道白糠町の先史文化 2
- 千代肇：北海道の歴史分野における考古学、北海道考古学 4
- 十勝団体研究会：相生台地の遺跡分布、十勝の自然を探る
- 1969（昭和44）年
- 高倉新一郎：探陥・紀行・地誌・北辺篇、日本庶

民生活史料集成 4

野村崇：アイヌ文化の性格、空知の文化財 1（埋蔵文化篇）

北海道教育委員会：北海道文化財シリーズ11 総合編

更料源蔵編：千歳市史（単）

1970（昭和45）年

村上初三郎：浦臼町発見の四つのチャシ、空知地方史研究 4

沢四郎：厚岸町末広遺跡について、釧路市立郷土博物館々報 207

高倉新一郎：争闘、アイヌ民族誌（単）

更科源蔵：アイヌと日本人——伝承による交渉史——（単）

1971（昭和46）年

海保嶺夫：近世アイヌと鉄砲、新しい道史 9—4
室蘭大谷高校郷土史研究部：室蘭ポン・チャシ発

掘調査

藤原一夫：室蘭絵鞆ポン・チャシ発掘調査、郷土研究紀要 7

富水慶一：白糠郡音別町オコタヌンペツチャシコツの遺物、北海道考古学 7

千代肇：北海道瀬田内郡瀬田内チャシ、日本考古学年報 19

山花・美濃郷土誌編さん委員会：先住民族と現存遺跡（オンネビラチャシコツ）、山花・美濃郷土誌

斎藤忠他：館、城址（城柵址）、座談会現代の考古学

吉田巖：チャシの一考察、筆にまかせて、帯広市社会教育叢書 15

——：アイヌのジャシについて、筆にまかせて、帯広市社会教育叢書 15

大場利夫・溝口稠：室蘭絵鞆遺跡発掘調査概要報告書（単）

峰山巖・金子浩昌・松下亘・竹田輝雄：天内山——続縄文・擦文・アイヌ文化の遺跡——（単）

更科源蔵：アイヌ伝説集（単）

児玉作左衛門：明治前日本人類学・先史学史（単）

山崎徹：先史文化、豊頃町史

1972（昭和47）年

其田良雄：旭川市内に分布するチャシコツ、博物館だより 7

大場利夫・新岡武彦・大井晴男・菊地俊彦：北海

道枝幸郡枝幸町川尻チャシ調査概報（単）

高津信行：先住民と生活、札文町史

峰山巖：先史時代、豊浦町史

加藤晋平：城——考古学的研究の面から見て——

城・東京都第8回文化財講座講演要旨

岡崎由夫・豊原熙司・西幸隆・沢四郎：釧路湿原

総合調査中間報告——シラルトロ沼——、釧路市立郷土博物館々報 218

新谷行：アイヌ民族抵抗史——アイヌ共和国への胎動——（単）

1973（昭和48）年

海保嶺夫：文献史料よりみたるチャシ、北海道考古学 9

豊原熙司・宇田川洋・松田猛・沢四郎：釧路川流域の遺跡（単）

大場利夫・大井晴男：川尻北チャシ遺跡、日本考古学年報 24

宇田川洋：塘路チャシ群（測量）、日本考古学年報 24

其田良雄：旭川市内に分布する「チャシ」について、史流 14

小林正雄：チャシ、足寄町史

野村崇：芦別市の先史遺跡（単）

岡崎由夫・沢四郎・豊原熙司・山本文男：温根内付近の遺跡踏査、釧路市立郷土博物館々報 220

1974（昭和49）年

後藤秀彦・河村七五三喜：乙部チャシコツについて、十勝考古 1

藤本英夫：ユーカラにも語られる北海道のチャシダン 2—1

西幸隆・沢四郎：春採湖と先史時代、春採湖

河野本道：平取地方の前近代、平取町史

藤本英夫：北海道埋蔵文化財の課題、日本歴史 311

沢四郎：チャシ、釧路市立郷土博物館々報 230
——：擦文時代とアイヌ時代、新釧路市史 1

藤本強：チャシ・北辺集落、日本考古学の視点上海

海保嶺夫：チャシ（砦）の文献史的考察、日本北方史の論理

萩中美枝：アイヌ文学に現われた chashi について、第28回日本人類学会日本民族学会連合大会抄

録

福田友之：遠矢第Ⅱチャシコツを発掘、考古学ジャーナル 102

村上初三郎：浦臼町で発見の四つのチャシ（1）、

- チャシの里 2
- 萩中美枝・其田良雄：上川地方石狩川上流筋のアイヌ語地名——その 4——カムイコタン左岸下流、博物館だより 13
- 海保嶺夫：17世紀のアイヌ社会における地域性、物質文化 23
- 1975（昭和50）年
- 沢四郎・西幸隆：釧路湿原周録の遺物分布、釧路湿原総合調査報告書
- ・——・豊原熙司：釧路市桂恋フシコタンチャシ調査報告
- 海保嶺夫：近世チャシの性格と成立、どるめん 6
- 北海道教育委員会：遠矢第 2 チャシ跡遺跡調査報告書（単）
- 因幡勝雄：チウエンチャシ、紋別アイヌのむかし話
- 後藤秀彦・石橋次雄：十勝埋蔵文化財分布調査報告書 I（幕別町）（単）
- 1976（昭和51）年
- 藤本英夫：チャシについて（覚書）、北海道考古学 12
- 石橋次雄：軍岡チャシコツ遺跡、日本考古学年報 27
- ：相生 A チャシコツ遺跡、日本考古学年報 27
- 福田友之：遠矢第 2 チャシ跡遺跡、日本考古学年報 27
- 後藤秀彦：十勝太 D チャシコツ遺跡、日本考古学年報 27
- ：十勝太海岸段丘チャシコツ遺跡、日本考古学年報 27
- ：十勝川口チャシコツ遺跡、日本考古学年報 27
- ：乙部チャシコツ遺跡、日本考古学年報 27
- 西蓮寺建・大谷敏三・大島直行：ウサクマイ遺跡群（単）
- 沢四 報 チャシの機能、釧路市立郷土博物館々 242
- ：釧路圏の文化財とその特色（単）
- 長見義三：ちとせ地名散歩、北海道新聞
- 北海道教育委員会：北海道のチャシ（巣）
- ：埋蔵文化財包蔵地一覧表（単）
- 1977（昭和52）年
- 永田均・岡崎由夫・沢四郎・小林俊夫・松田猛・西幸隆・工藤研治・金子浩昌：弟子屈町矢沢遺跡調査報告——第 1 次調査——（単）
- 桜井清彦：館・チャシ研究ノート、北奥古代文化 9
- 本堂寿一：東北地方におけるチャシ論史考、北奥古代文化 9
- ：石狩川流域のチャシコツ、石狩川中流域の先史遺跡
- 石附喜三男：北海道のチャシ、地方史マニュアル 5 考古資料の見方〈遺跡編〉
- 目黒治助：本別町史（単）
- 永田均・松田猛・沢四郎：北海道弟子屈矢沢遺跡——サンペコタンチャシコツの調査——、釧路市立郷土博物館々報 243
- 山本文男・沢四郎：阿寒町の埋蔵文化財分布調査記——西高台・下仁々志別・紀の丘・下徹別——、釧路市立郷土博物館々報 244
- 藤本英夫：北海道のチャシ、日本古代文化の探求城（単）
- 岡田宏明編：カムイエカシチャシ（単）
- 乾芳宏・鈴木邦輝・園部真幸・長谷川一弘・福田友之：千歳川流域のチャシについて、北海道の文化 38
- 石橋次雄・後藤秀彦：北海道陸別町で発見した 4 つのチャシ跡、浦幌町郷土博物館報告 10
- 涌坂周一・福士宏志・豊原熙司：西竹第 1 遺跡、俣落チャシコツについて、郷土研究なかしべつ 2
- 豊頃町教育委員会：豊頃町埋蔵文化財分布調査報告（十勝埋蔵文化財分布調査報告 II）（単）
(浦幌町教育委員会学芸員)

1978年2月28日	印 刷
1978年2月28日	發 行
編 集 後 藤 秀 彦	
發行責任者 家 村 克 行	
發 行 所 浦幌町郷土博物館 (089-56)	
北海道十勝郡浦幌町字東山町23番地	
印 刷 所 大同出版紙業株式会社 (080)	
北海道帯広市西 7 条南 6 丁目	